

- 巻頭言 1
- 特集① 2
- 特集② 3
- コラムほか 4

やぶやぶニュース

2022年(令和4年) 7月20日 水

発行所 株式会社大藪保険コンサルタント 〒167-0032 東京都杉並区天沼3-2-6-2階 電話(03)3392-6765 www.yabuyabu.com

巻頭言

火災保険改定の概要が明らかに

本年10月の火災保険の改定が正式に決まりました。3月9日に「損保各社が過去最大級の値上げを実施する」と報道されて以来、弊社への問い合わせもたくさんいただきました。

6月、ようやく各社から案内が届いたのですが、内容は驚くような部分も多く、大がかりな改定と言えます。

改定のポイントは、次の通りです。(各社違いがありますので、あくまでも一例としてご覧下さい)

- ・事故時のお客様の自己負担額が強制的に設定される
- ・契約できる最長保険期間が10年から5年に短縮される
- ・建物の築年数が古くなるほど保険料が高くなる
- ・築年数が浅い物件は保険料が安くなる
- ・一棟掛け(マンションオーナー等)はさらに値上げ率が高い

今回の改定で最も影響があるのは、築20年以上の物件オーナーではないかと思えます。是非、この機会に

現在放映中の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の主要人物である鎌倉殿・源頼朝が亡くなりました。今後は、主人公の北条義時と尼御台となった政子を中心とした13人の御家人達による権力争闘になるのでしょうか。

北条政子は「日本の三大悪女」に数えられていますので、この際、「三大悪女」の由縁をひも解いてみたいと思います。

まず、「三」という文字は、本来、数字を意味するのではなく、日本から見て、インド、中国という「世界」を指して表現したものです。

北条政子は、頼朝との間に頼家、実朝という二人の子を授かりましたが、早くに亡くしました(暗殺ともいわれています)。また、頼朝の側室・亀の前が住んでいた屋敷を嫉妬のあまり打ち壊したり、さらには、実家・北条家による鎌倉幕府の支配を容認したことが悪女たる由縁と言われています。しかし、御家人の女御の塚(櫛塚)を祭る等、優しい面も見られます。

契約を見直してみよう。値上げ前に長期契約を結ぶ等の対策が有効かも知れません。

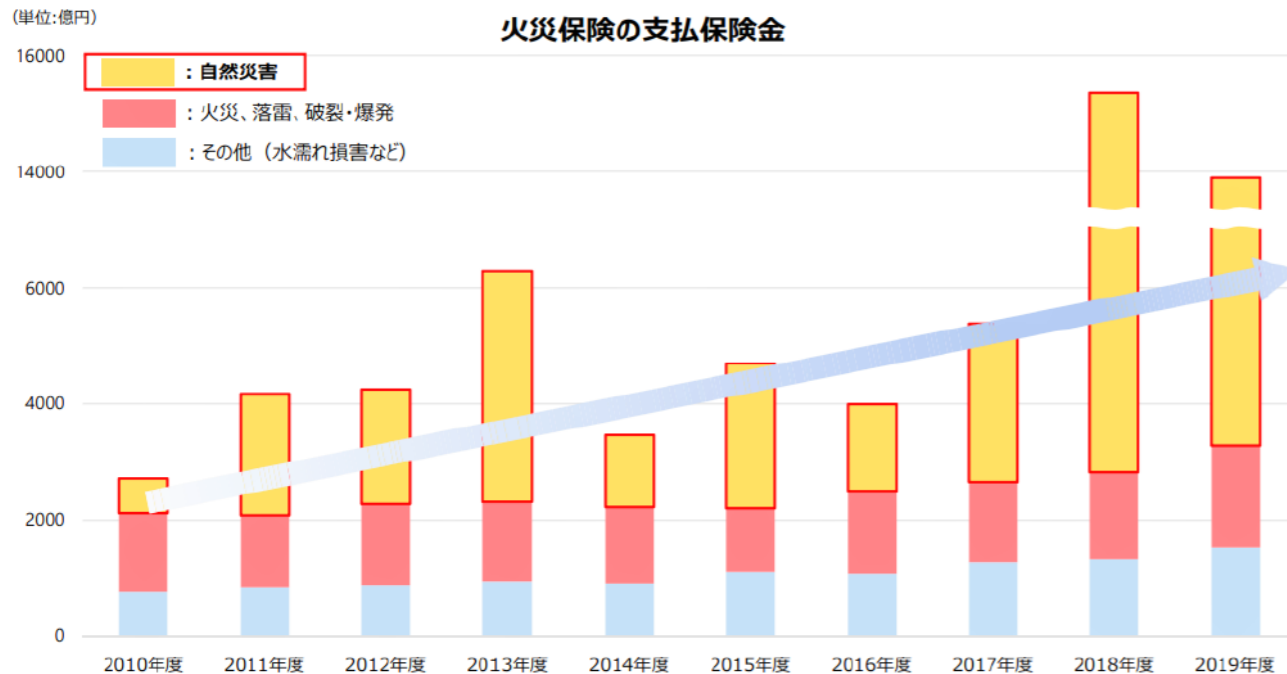
皆様には直接関係がないことですが、弊社(代理店)の取扱手数料は物件が古くなればなるほど低くなるそうです。老朽化した物件は、リスクが高いため保険会社は引き受けたくないという方向になってきているようです。

また、同じタイミングで地震保険も改定になります。東京都の物件は横ばいとなりませんが、近隣の埼玉県の物件は約30%の値上げになります。2017年以降で、火災保険は3回目、地震保険は4回目の改定です。

昨今の度重なる改定に、弊社スタッフもフル回転で対応しています。弊社でもお客様に見直しの提案をさせていただきますが、気になる方は是非お気軽にお問い合わせ下さい。ベストなご提案をできる、よう、精進してまいりますので、よろしくお願ひします。(高橋)

火災保険の保険金支払い状況

大規模自然災害の発生有無によって、各年度の保険金支払い額は変動するが、火災保険の保険金支払いは自然災害を中心に増加傾向にある。



出典：損害保険料率算出機構データをもとに損保協会作成。

民主主義って何？

参院選が終わりました。戦前の予想通り、政府与党の圧勝だったと思います。

選挙期間中、安倍元首相が凶弾に倒れました。これは、暴力によって言論を封殺する凶行で、断じて許されるものではありません。

一方で、安倍元首相は、自らの主張に反対する勢力に對して挑発的な言動を用いたり、国会において力の論理で政権を維持したようにも思えます。民主主義とは、自らと異なる意見も大切にすることと考えていました。

森友・加計問題等を黙殺する姿勢には違和感を覚えたのも事実です。

いつの間にか世界が右傾化する中、過去に発生した事件で昭和初期の血盟団事件や5・15事件や2・26事件を思い起こします。結局、軍部主導で太平洋戦争に突入しました。こんな時こそ、民主主義の根幹とは何かをしっかりと考えていく必要があります。

ちなみに、2017年の桜を見る会には業界団体の一人として参加していました。

コラム・日本三大悪女とは

何よりも承久の乱で「頼朝様のご恩は山よりも高く、海よりも深い」と御家人の士気を高めた名演説は、幕府の守護神のように思えます。

室町時代の日野富子は、第八代將軍・足利義政の正室であり、我が子を將軍に就けた余り、応仁の乱に至りました。その応仁の乱でも、東西両軍に金を貸して大儲けしました。ただ、政務を放り投げ、銀閣寺の造営等に浪費する、夫・義政になり変わって直した功労者とも？

最後の淀君は、秀吉の側室です。我が子可愛さ、過保護で秀頼を守ることで精一杯でした。さらに、織田一族のプライドと躁鬱的な性格で、先が読めず、豊臣家を滅ぼしたためと言われています。

これらの説は、江戸時代の朱子学から出てきたものですが、いつの世の母親も、子ども中心ではないでしょうか？江戸時代の社会通念から秩序を乱した悪女？再検証する必要があります。(大藪)

編集後記

皆様、こんにちは。編集長の増田裕一です。今号のやぶやぶニュースはいかががでしたでしょうか？

前号から編集長の座を引き継いだばかりで、今号も記事の編集に四苦八苦しながら仕上げました。何せ、記事の内容に對する「天からの声」にも最大限配慮しなければならぬもので。

さて、読者の皆様でご存知の方もいらっしゃると思いますが、6月は、仕事以外にも注力しなければならぬ活動がありまして、弊社のメンバーや一部の読者の皆様には大変お世話になりました。若干、仕事の進捗にも影響がありました。いま現在、日常を取り戻しつつあります。折に触れてご報告したいと思えます。

最近、家族に食事を振舞う機会があります。お気に入りのお品は「冷や汁」。宮崎県の郷土料理だそうで、暑い夏にはぴったりの美味です。見た目がいま一つですが、冷やして食べるととてもおいしいのですよ。皆様もお試し下さい。(増田)